

2021年7月1日
東レ株式会社

欧州に樹脂テクニカルセンターを開設

東レ株式会社(本社:東京都中央区、社長:日覺昭廣、以下「東レ」)は、この度、欧州における樹脂製品のマーケティング及び販売会社である Toray Resins Europe GmbH(略称:TREU)の技術開発拠点として、東レの欧州自動車開発拠点であるオートモーティブセンター欧州(所在地:ドイツ・ミュンヘン近郊、以下「AMCEU」)敷地内に樹脂テクニカルセンターを開設しました。

樹脂テクニカルセンターでは、欧州域内での迅速な技術データ提供や CAE 解析を通じた設計支援、イノベーティブな材料開発、分析・評価機能を充実し、お客様の製品開発を支援します。

具体的には、急速に拡大する樹脂製品のデジタル設計に対応するため、材料に求められる長期耐久データや高精度な機械物性データを拡充し、樹脂特有の異方性を考慮した解析などの高度な CAE 解析の支援を強化します。また、自動車の電動化に伴い増加している金属をインサートした高電圧部品絶縁用樹脂成形品の冷熱時のヒートサイクルによる割れなどの課題に対応するため、高いトラッキング性や耐ヒートサイクル性を有する材料提案や割れ防止の解析支援などに取り組みます。

また、自動車分野では、繊維、フィルム、樹脂、炭素繊維複合材料をはじめとする東レ先端材料の特性を最大限引き出す成型加工・解析・評価機能を持つ AMCEU と連携することで、東レが保有する材料に合わせた工法・構造設計機能の提案や欧州自動車メーカー、部品メーカーとの共同開発など、欧州のニーズを捉えたテクニカルソリューション提供を一層強化してまいります。

欧州自動車産業は、燃費規制による CO₂ 排出量削減などの環境規制強化に伴い、開発リソースを電動化と自動運転技術にシフトする動きが加速しており、電子制御・通信関連部品市場拡大による高機能樹脂の継続的な需要拡大が見込まれています。また、電気・電子機器、住宅関連部品などの産業用途においても、耐熱性・耐薬品性の要求を満たす高機能樹脂の需要が拡大しています。

東レは今回の樹脂テクニカルセンター開設により、現地ニーズを迅速に把握し、ソリューション提案を推進することで、お客様の満足度向上と自動車用途を中心とした樹脂事業のグローバルな拡大を加速します。

東レは、中期経営課題“プロジェクト AP-G 2022”の基本戦略の一つとして「成長分野でのグローバルな拡大」を推進しています。サステナブル社会の実現に向けた取り組みで世界を牽引する欧州において、企業理念である「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」のもと、高機能樹脂の現地開発・提供を通じて地域社会に貢献してまいります。

以上

<ご参考>

Toray Resins Europe GmbH(TREU)概要

1. 事業内容 : 東レ樹脂材料の欧州市場マーケティング及び販売
2. 本社所在地 : ドイツ連邦共和国ヘッセン州オッフエンバッハ郡ノイ＝イーゼンブルク市
3. 設立 : 2015年4月
4. 資本金 : 2.0百万EUR
5. 代表者 : (社長)ロバート・エンゲル

東レグループ樹脂製品サイト <https://www.toray.jp/plastics/>

<本件に関するお問い合わせ先>

東レ株式会社 広報室 (東京)TEL:03-3245-5179 (大阪)TEL:06-7688-3085